

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果 京都市立小栗栖中学校

4月17日に、全国の中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、今年度の3年生83名が参加しました。本調査では、国語、数学、理科の3教科のテストと同時に、生活実態や家庭学習状況に関するアンケートも実施されています。本校の生徒の実態について、すべての保護者様に關心をもっていただきたく、返ってきた調査結果の一部になりますが、分析も加えて以下にご紹介します。

総合結果（国語、数学、理科）

この度の調査の正答率は、国語、数学、理科とも全国平均を下回る結果となりました。しかし、京都市で実施する学習確認プログラムにおいて、入学時と比較すると、少しずつですが平均との差を縮めてきております。更なる基礎の定着をすすめるとともに、「全国調査」で問われたような応用問題にも対応できる力をつけるために、どの問題に対しても粘り強く最後まで取り組んで欲しいと思います。

国語	全国・京都市の平均と比べて低い結果となりました。言語事項の漢字の読み・語句の意味・文法、「話す・聞く」の聞き手の質問の意図、「読む」の登場人物の描写や言動の問いは比較的出来ていました。反面、文章の要旨を捉えること、資料と文章の関係を考えること、文章を理解した上で、設問に対する解答を文章で表すことが困難でした。日頃から文章を読むことに慣れ、それについて自分の考えを述べたり、話し合ったりする機会をもってほしいと思います。
数学	全国・京都市の平均と比べて低い結果となりました。計算問題や図形の角度を求めるなど基礎となる問題は比較的できていました。分野的には、「関数領域」が苦手なようです。また、文章で説明する、問題文が長い問題に弱いという傾向がみられました。じっくり考えることや、家庭学習の定着が課題といえます。少しでも良いので家で勉強する習慣をつけましょう。
理科	全国・京都市の平均と比べて低い結果となりました。「濃度を求める問題」はよくできていたのですが、「感覚神経」や「震度・主要動」などの語句を「きちんと理解して（覚えていて）答える問題」や、「グラフを読み解く問題」では20ポイント近く低くなっていました。しっかり復習をして、習った知識を自分のものにする努力をしましょう。

「予習・復習をしていない」と答えた生徒は約74%。
まずは、今日の復習からしてみませんか？

生徒質問紙調査から（1）

Q. 平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 単位：%

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	全くしない
本校	4.8	10.8	24.1	15.7	20.5	24.1
全国	10.5	25.9	34.2	16.1	7.9	4.9

全国と比べ、学校外での学習の時間が極端に少ないことがわかります。とくに、30分を切る生徒が約半数であることに驚きました。「やればできる」ではなく、「やったからできた」に変わっていく必要があるのではないのでしょうか。まずは落ち着いて、机に向かってみましょう。平日の放課後学習会や土曜学習会など、学習に向かいやすい場所に身をおいてみるのも有効だと思います。

生徒質問紙調査から（２）

Q. 朝食を毎日食べていますか。

	毎日食べている	どちらかと言えば 食べている	あまり 食べていない	食べていない
小栗栖中	59.0%	18.1%	14.5%	8.4%
全国	79.7%	12.2%	5.4%	2.6%

朝食を食べることは、子ども達の1日の充実した体の活動・頭の活動・心の活動に大変重要です。多くのご家庭では、毎朝、朝食を食べさせて登校させていただいていますが、約40%のご家庭が「毎日」ではない状況がうかがえます。子ども達の心身の健やかな成長、学力向上のためにも、必ず朝食を食べさせて登校させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

Q. 将来の夢や目標を持っていますか。

	持っている	どちらかと言えば、 持っている	どちらかと言えば、 持っていない	持っていない
小栗栖中	44.6%	25.3%	21.7%	8.4%
全国	45.3%	27.1%	17.4%	10.0%

夢や目標を持つことは、学習への意欲につながります。本校3年生は、全国平均並みに夢や目標をもっている生徒の割合となりました。15歳で将来の具体的な目標を持つことは難しいかもしれません。まずは、小さな目標（学期の目標、1年後の目標、教科別の具体的な目標など）を持ち、それを達成しようとするのが大切です。その気持ちが学習意欲の向上につながり、意欲的に学習・学校生活を送ることで必ず学力を伸ばすことができます。頑張ろう、3年生。

全体を通した本校の成果と課題

学習面のサポートとして、本校では、土曜学習会や平日放課後学習会（未来スタ）を定期的で開催したり、テスト前放課後学習会をどの学年でも実施したりするなど、環境を整えております。特に3年生で、それらの学習会に参加する生徒の数は多くなっています。質問紙において、教科の学習は「大切だと思う」「できるようになりたい」と考える生徒の割合が、全国平均並みに高くなっていました。なんとかしたいという意欲はありますので、土曜学習会や未来スタなど、勉強できる環境に身をおいて定期的に学習時間を積み重ねていってはどうでしょうか。

また、将来のことを考える学習として、2年生において、「高校調べと訪問」の取組を始めました。中学卒業後の進路を考える取組が、学習意欲を高めることにつながってほしいと思います。

学校生活の中では、明るくあいさつできる生徒が多いという印象があります。「いじめはいけないと思うか」という質問にも、高い割合でいけないと考える生徒がいます。行事や特別活動で頑張る生徒も多いので、この雰囲気を大切にしていきたいと思います。



保護者のみなさまへ

学力は、学校を中心に家庭や地域と連携をはかりながら、様々な活動を経験し、体験させることで、定着し向上していくものです。引き続き、保護者の皆様には、子どもたちの健やかな成長と、学びの環境作りにご協力いただけますよう、宜しくお願いします。